

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	8			作成日	平成25年9月17日		
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業		
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課等名及びグループ名	町民課 国保年金室		
	節	6	病気を未然に予防する健康づくり運動の展開	記入者 職氏名	国保年金室長 斎藤 弘也		

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>	全部委託 <input type="checkbox"/>	補助等 <input checked="" type="checkbox"/>
------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--

事務事業名	大子町国民健康保険脳ドック健康診査費助成事業					
事業概要	対象	40歳以上の被保険者で国民健康保険税の完納世帯に属する者で、脳疾患で医師の治療を受けている者又は検査医療機関等が不相当と認める疾病を有する者以外の者				
	目的	被保険者の健康の保持増進				
	実施内容	申請により、脳ドック健康診査に要する費用の7割相当額を、当該年度において助成対象者1人につき1回を限度に助成。 健康診査実施機関は、契約により「那須脳神経外科病院」、「ブレインピア南太田」、「水戸ブレインハートセンター」、「聖麗メモリアル病院」及び「聖麗メモリアル高鈴」の5機関。				

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	国民健康保険事業特別会計			過疎計画	施策区分	
	款	8	保健事業費			事業名 (施策名)	
	項	2	保健事業費				
	目	1	保健衛生普及費				
事業名	脳ドック健診			根拠法令	大子町国民健康保険脳ドック健康診査費助成金交付要綱		

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

			事業期間	開始			終了		
				平成	22	年度	平成		年度
年 度	事業費 (決算・予算)		財源内訳 (単位: 千円)						
	国支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源			
平成 21 年度実績									
平成 22 年度実績	4,576							4,576	
平成 23 年度実績	2,068							2,068	
平成 24 年度実績	1,960							1,960	
平成 25 年度当初	5,400							5,400	

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分						

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	22年度は申請者が259人、23年度は112人、24年度は104人と助成件数は減少傾向にある。
------	---

V 問題点の概要

問題点	町内に脳ドック実施機関がないため、受診者に通院の負担がかかる
-----	--------------------------------

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
助成件数	件	104	300	-	300	-	300	-	300	34.7%
指標に表われない効果	疾病の早期発見による医療費の削減効果									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	総合計画の目的に沿った事業である。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	他に同様の事業は無いため、事業の実施は有効と思われる。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	コスト削減は、助成割合又は助成件数の削減になるため、効率性の観点からは判断し難い。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	40歳以上を対象としており、全被保険者を対象としていないが、疾病発症のリスクが高くなる世代を中心に行っている。年齢到達により助成対象となるため、公平性は保たれるものと思われる。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。		
1 継続(事業規模を拡充する)		5 他事業と統合する
2 継続(現行どおり)		6 休止, 廃止
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)		7 終了
4 見直し(実施規模を縮小する)		
【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 脳疾患等の早期発見には有効な事業であり, 対象者もよりリスクの多い世代を対象としているため, 的確に事業運営が行われているものと思われる。 今後の課題としては, 受診結果のデータ化を行い, 事業の有効性に係る検証を実施したい。		
【担当所属長意見】 町の集団健診等では実施できない事業であるため, 今後も本事業については継続して実施するとともに, 保健指導等の他の事業との連携により, 総合的な疾病の予防対策に努めていきたい。		

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。		
1 継続(事業規模を拡充する)		5 他事業と統合する
2 継続(現行どおり)		6 休止, 廃止
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)		7 終了
4 見直し(実施規模を縮小する)		
【具体的内容】 申請者が減少傾向にあるため, 更なる事業の周知に努めること。		
【備考】		

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	8			作成日	平成25年9月17日		
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業		
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課等名及びグループ名	町民課 国保年金室		
	節	6	病気を未然に予防する健康づくり運動の展開	記入者 職氏名	国保年金室長 斎藤 弘也		

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

事務事業名	大子町後期高齢者医療脳ドック健康診査費助成事業		
事業概要	対象	後期高齢者医療制度の被保険者で、保険料を完納している者	
	目的	被保険者の健康の保持増進	
	実施内容	申請により、脳ドック健康診査に要する費用の7割相当額を、当該年度において助成対象者1人につき1回を限度に助成。 健康診査実施機関は、契約により「那須脳神経外科病院」、「ブレインピア南太田」、「水戸ブレインハートセンター」、「聖麗メモリアル病院」及び「聖麗メモリアル高鈴」の5機関。	

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	
	款	3	民生費		事業名 (施策名)	
	項	1	社会福祉費			
	目	5	後期高齢者医療給付費			
	事業名	脳ドック健診			根拠法令	大子町後期高齢者医療脳ドック健康診査費助成金交付要綱

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

年 度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位:千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績						
平成 22 年度実績	923				923	
平成 23 年度実績	556				556	
平成 24 年度実績	494				494	
平成 25 年度当初	1,800				1,800	

特定財源 の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分					後期高齢者医療制度特別対策補助金	100

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	22年度は申請者が50人, 23年度は29人, 24年度は30人と助成件数は減少傾向にある。
------	--

V 問題点の概要

問題点	町内に脳ドック実施機関がないため, 受診者に通院の負担がかかる
-----	---------------------------------

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
助成件数	件	30	100	-	100	-	100	-	100	30.0%
指標に表われない効果	疾病の早期発見による医療費の削減効果									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか? ○対象・意図を見直す余地はあるか? ○町が実施又は関与すべき目的であるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	総合計画の目的に沿った事業である。
有効性	○成果向上の余地があるか? ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか? ○目標が達成されたか?	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	他に同様の事業は無いため, 事業の実施は有効と思われる。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か? ○コストを圧迫している, 又は増大させている要因はあるか? ○他の事務事業との統合は可能か?	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	コスト削減は, 助成割合又は助成件数の削減になるため, 効率性の観点からは判断し難い。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか? ○負担者(納税者)の理解は得られているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	全被保険者を対象としており, 公平性は保たれるものと思われる。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 脳疾患等の早期発見には有効な事業であるが, 申請者数が減少しており, 受診勧奨や事業の周知に努めたい。 今後の課題としては, 受診結果のデータ化を行い, 事業の有効性に係る検証を実施したい。</p>										
<p>【担当所属長意見】 町の集団健診等では実施できない事業であるため, 今後も本事業については継続して実施するとともに, 保健指導等の他の事業との連携により, 総合的な疾病の予防対策に努めていきたい。</p>										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】 申請者が減少傾向にあるため, 更なる事業の周知に努めること。</p>										
<p>【備考】</p>										